



十勝岳に抱かれた、美瑛の雄大な道。突き抜けた空はどこまでも広く、私はバイクと共に風のように軽快に飛ばし続ける。



果てなく続く真っ直ぐな道とパノラマはまさに北海道。この気持ち良さはもう、言葉で言い尽せない!! So Great!!!!

名古屋を出発して、茨城の大洗港まで約7時間かけて到着する。初日からよく走る旅だ。旅をするにはタフな体と心が必要だといつも思う。フェリーに揺られること18時間、全願の北海道に降り立った。相変わらずすべてが広く、その雄大さが私には心地いい。まさにバイクの聖地!!

苫小牧の港から目指したのは、道央の人気スポット美瑛。幾度となく北海道を訪れたけど、毎年欠かしたことがないほどのお気に入りの場所。今回私が訪れた7月というのは、美瑛が最も華やかな時期だ。花は咲き誇り、緑は青々と茂る。短い夏を惜しげもなく謳歌しようとする力強い生命力に満ち溢れている。私はそんな美瑛を相棒と走るといふ幸せを噛み締める。

3年振りの美瑛は私を変わらない姿で迎えてくれた。どこを走っても見覚えのある道ばかりで昔の記憶が次々と蘇る。懐かしい風景と空気をしみながら、プランクを埋めるように緩やかに走っていく。ケンとメリーの木、セランスターの木など数々の表情を見せる美瑛の風景は

北海道ならではの突き抜けた透明感のある広さを感じさせてくれる。

感慨に浸りながら向かったのは、指折りのビューポイント、北西の丘展望台。ここからの眺めは美瑛の中でも群を抜いて素晴らしい。有名な観光スポット。なだかな丘の畑は、パッチワークのように色分けされ果てしなく続き、その奥には大雪の雄大な山々が連なる。何度来ても溜息の出る美しさ(ここへ初めて来た頃はまだほんの少女だった私。それが自分のバイクで来れるようになったんだから、大人になったもんだ……)。

ここには素敵な出会いもあった。倉敷から来ていたその彼女は、私の大好きな女性ハリー乗り。聞けば、この旅のためにわざわざ仕事を辞め、これから先40日にも及ぶ北海道ひとり旅の最中だという。なんて羨ましい。私もいつかひとり北海道を長く旅してみたい。ツインカムフラットボディを小柄な体で乗りこなす、笑顔の素敵な中尾幸子さん。またどこかでお会いしましょうね。こんな予期せぬ出会いは旅にさらなる興行きを与えてくれる。だから旅はやめられない!!



昔の賑やかな姿は、今はもうなく、ひっそりとした中富良野森林公園キャンプ場。有料化されたことが原因らしいけれど、とても寂しい……。でも、吹上露天の湯は相変わらず最高。豪華な温泉よりも大自然の秘湯が好き!!



美瑛を後にして、山並みに向かって峠を駆け上る。北海道の旅で虜になってしまったもののひとつ、それは温泉。人知れず自然の中に湧き出た天然の温泉はまさに旅人のパラダイス。水平線を目の前に、ダートは何時間も走った山奥に、川を遡った滝つぼに、湖面に映る夕日をバックに。そんな秘湯だらけの北海道で、私が必ず寄っていくのが吹上の湯だ。ここはTVドラマ『北の国から』の「秘密」

で、宮沢りえと田中邦衛が入ったことで一躍有名になった温泉。十勝岳の中腹にあってもちろん混浴露天。脱衣所なんてものもない。久しぶりのそんな秘湯に歓喜の声を上げる私(嬉しさのあまりよっぽど裸で飛び込んでしまった)が、まわりの目もあるので今回はおとなしく水着にて入浴。やっぱりこれはクセになる。雄大な景色の中で入る温泉は本当に格別だ。



富良野では最後に、忘れられない思い出のつまずいた場所にも立ち寄ってみた。いつもお世話になっていた中富良野森林公園キャンプ場。着くやいなや、私は一瞬にしてフラッシュバックしてしまった。キャンプ場のそこかしこに思い出があふれていて、懐かしさに胸が締めつけられる。だけどバイクやキャンパーの姿はほとんどない。ハイシーズン前とはいえ、もう7月の下旬だといふのに、その姿にほんの少し寂しさを感じながら、富良野を後にする。



丘の畑がパッチワークのように見えるのが美瑛。北西の丘の一面に咲く菜の花畑で出会ったのは中尾幸子さん。実は新婚水や水やなののに、旦那さまを置いてまで旅に出てしまう潔さが素敵過ぎ!! 私もいつか、同じようにひとり気ままな旅に出たい。幸子さん、その時は必ず遊びに行きますから、美味しい温泉うどん食べに連れて行ってくださいね!!



ここでまた懐かしさに酔い、もの思いに耽る。思えば何度目かの北海道。この温泉でもバイクたちと出会った。彼らの楽しそうな姿は今も目に焼きついて離れない。そんな彼らに憧れた自分が今、バイクとなり北海道を旅している。なんだか嬉しいような照れくさいような不思議な気持ち。

西の太陽をどこまでも追いかけて、夜の間に染まり始めた広大な北の大地を南に向かって走る。果てしなく続く道の上で、夢のようなこの旅がいつまでも続いてほしいと心から願う。そして私と一体になり走ってくれる相棒の姿にさらに愛着が増す。ハリーと出会い10年の月日が流れ、今こうして、出会った地でハリーと共に走り喜び、それは絶え間なく溢れ出る懐かしさと共に私を恍惚の世界へ誘い出す。

# 変わらない姿で迎えてくれる思い出の場所。 変わらずに出会いを与えてくれる大地。